

2011年8月22日(月)

報道関係者各位

笹川平和財団(SPF)

ロシア科学アカデミー専門家が語る  
「ロシアから見た中東情勢」  
個別取材のご案内

SPF・中東イスラム基金の招へいにより、ロシアの最高学術機関、ロシア科学アカデミー 世界国際関係研究所の副所長ヴラディミール・バラノフスキー氏ならびに同アカデミー 米カナダ研究所付属中東分析センター長アレクサンダー・シュミリン氏が8月29日に来日します。この機会に報道関係者の皆さまに個別取材を通じて両氏とお話し頂く時間を設けました。

日時：2011年8月30日(火) 午前中(時間帯は当方で調整します。)

場所：日本財団ビル 4F 笹川平和財団会議室

お申込み連絡先：SPF 広報担当 兵藤

Tel. 03-6229-5456 / 080-1249-7536 E-mail: hyodo@spf.or.jp

\*当日通訳は付きませんので、取材は英語で行って頂くことになります。あらかじめご了承下さい。

ロシアの中東専門家が日本を訪れることは稀です。イラク、アフガニスタンでの米軍撤退後の空白、「アラブの春」など中東の政治変動をロシアはどう見ているのか？ 新しい視点から中東を理解する絶好の機会です。

**ヴラディミール・バラノフスキー氏略歴**：1950年生まれ。1973年モスクワ国際関係大学(MGIMO)卒業。世界経済国際関係研究所にて1975年博士号(PhD)、1985年歴史学博士号(ScD)取得。1975年より世界経済国際関係研究所勤務。ブリュッセル自由大学欧州研究所客員研究員、ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)シニア研究員などを経て現在、ロシア科学アカデミー世界国際関係研究所の副所長。著作：*Russia and Asia: Challenges and Opportunities for National and International Security*(1999)、*Foreign Policy cycle: from Gorbachev to Putin*(2010)など書著、論文200点以上

**アレクサンダー・シュミリン氏略歴**：1953年生まれ。1976年モスクワ国際関係大学(MGIMO)卒業。政治学博士(PhD)。1988年からチュニジア、アルジェリア、エジプト、UAEなどで報道記者として活躍した後、1997年からモスクワの主要各紙で国際関係アナリストを務める。2002年よりロシア科学アカデミー・米カナダ研究所付属中東分析センター長。2004年からインターネット紙、<MidEast.RU>の編集長。著書：*The USA & Russia energy strategy in the Greater Middle East*(2008)、*USA and Russia in the Middle East: partnership and rivalry* (2010)他多数。

8月29日(月)には、両氏による講演会「ロシア外交から見た中東」(15:00~17:00、於日本財団ビル2階)を開催します。お申し込みは [middle-east@spf.or.jp](mailto:middle-east@spf.or.jp) までお願いします。

中東イスラム政治変動講演会シリーズとは？：中東での政変に対応するため、世界中の中東専門家によるセミナーや研究会を定期的に開催し、中東の現状を包括的に理解することを目的としています。